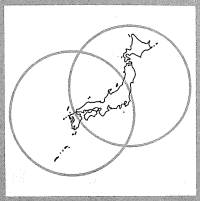
本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



CASIO

P

電波時計

2141・2469＊JA

取扱説明書

2141・2469

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本誌に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

◆本機の特長◆

● 正確な時刻を表示（電波時計）

日本の標準時刻をのせた長波標準電波 JJY を受信して、正確な時刻を表示します。

● デイカウンター（5本）

設定日との差を自動計算して表示します。

● アラーム（3本）

セットした時刻に電子音を鳴らすことができ、セット時刻までの残り時間も表示します。

● テレメモ

最大 20 件の名前＆電話番号を記憶します。

● ワールドタイム

世界 27 都市（29 タイムゾーン）の時刻がわかります。

● ストップウオッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

ライト点灯機能について …… 5

操作のしくみと表示の見方 …… 6

電波時計について …… 8
- 電波時計とは …… 8
- 標準電波 …… 8
- 電波の受信範囲の目安 …… 9
- 使用場所について …… 9
- 受信方法について …… 10
- 自動受信のオン／オフ …… 11
- 電波タイプの切り替え …… 12
- 受信に関するご注意 …… 13
- こんなときには …… 13

アラーム・時報の使い方 …… 14
- セット時刻や残り時間を見る …… 14
- アラームのセット …… 15
- アラームの修正 …… 17
- アラーム・時報のオン／オフ …… 18

デイカウンター機能の使い方 …… 19
- セット日や日数を見る …… 19
- デイカウンターのセット …… 20
- デイカウンターの修正 …… 22

ワールドタイムの使い方 …… 23
- 都市のサーチ …… 23
- サマータイムの設定／解除 …… 23
- ワールドタイム都市一覧表 …… 24

テレメモの使い方 …… 25
- データのサーチ …… 25
- データの入力 …… 26
- データを修正する …… 28
- データを消去する …… 29

ストップウオッチの使い方 …… 30
- 計測のしかた …… 30

ホームタイムデータの合わせ方 …… 31
- セット内容 …… 31
- セットのしかた …… 31

製品仕様 …… 33

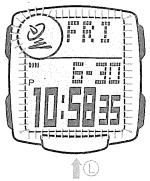
ご使用上の注意 …… 34

お手入れについて …… 36

電池交換について …… 36

ライト点灯機能について

どのモードでもⓁボタンを押すと文字板が約２秒間発光し、暗いところでも表示を見ることができます。

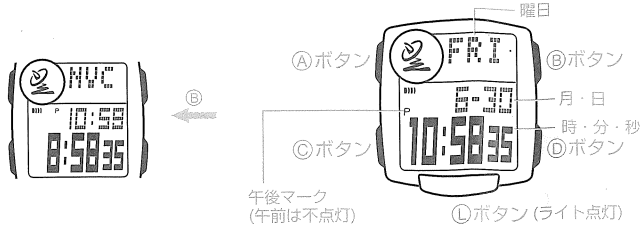


〈注意事項〉
- ●直射日光下では発光が見えにくくなります。
- ●発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- ●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方　Ⓒボタンを押すごとにモードが切り替わります。

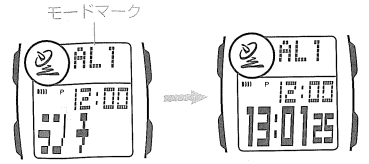
時刻モード

Ⓑボタンを押している間、ワールドタイムモードで最後に見た都市の時刻を表示します。



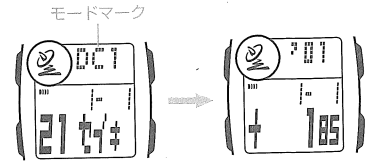
※時刻モードでは、時・分・秒が回転するように切り替わります。
※各モードでボタン操作をした後Ⓒボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。
※アラームモード、デイカウンターモード、テレメモードで何もボタン操作をせず２～３分間経過すると、自動的に時刻モードに戻ります。
※表示内容や使い方については各機能の項目をご覧ください。

アラームモード



P-14

デイカウンターモード



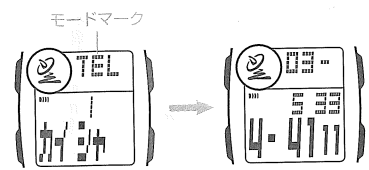
P-19

ワールドタイムモード



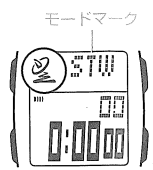
P-23

テレメモードモード



P-25

ストップウオッチモード



P-30

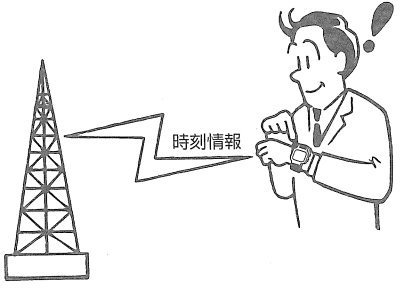
電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報〔日本標準時〕をのせた長波標準電波(JJY)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

★標準時とは

日本の時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

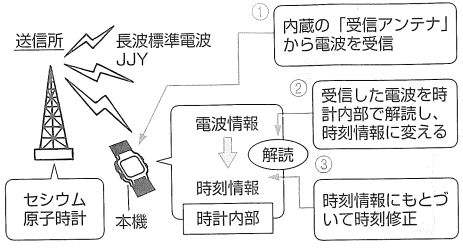


■ 標準電波

標準電波は総務省通信総合研究所(CRL)が運用しており、福島県田村郡おおたかどや山(40kHz)と佐賀県と福岡県の境にあるはがね山(60kHz)の標準電波送信所から送信されています。
この標準電波のうち、モジュールNo.2141はおおたかどや山の40kHzを、モジュールNo.2469ははがね山の60kHzを受信します。

※モジュールNo.とは、時計本体の裏ブタに刻印されている4桁の番号です。

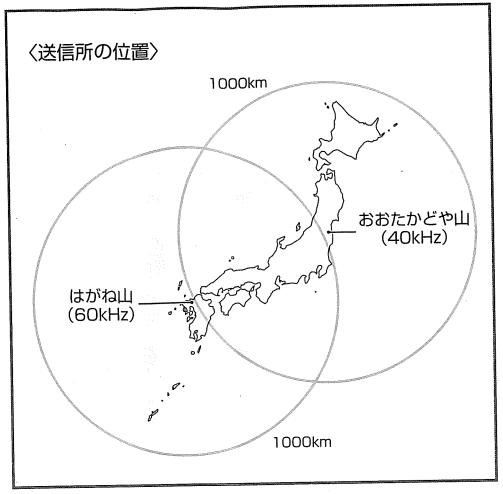
この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることがあります。



■ 電波の受信範囲の目安

条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。

※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。
また、受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯(昼・夜)などによって受信できないことがあります。

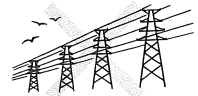


■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。


ビルの中およびその周辺
(ビルの谷間など)


高圧線、架線の近く


乗り物の中
(自動車、電車、飛行機など)


家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
(テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコンなど)


電波障害の起きるところ
(工事現場、空港のそばなど)


金属板の上、山の裏側…など

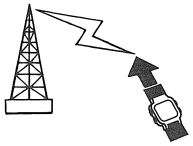
受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。
1 自動受信（午前２・４・６時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信前の準備



受信しやすくするために、本機を腕からはずし、時計上部（12時位置）のアンテナを電波送信所方向に向けます。

●時計上部が電波送信所方向（9ページ参照）に対してまっすぐ向いていないと、受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。

●受信時間は？

受信時間はおよそ４～11分です。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓓボタンを約2秒間押し続けます

確認音が鳴り、受信を開始します。
受信中表示“ ”を表示します。



★受信を中止するときは

Ⓓ ボタンを押します

※受信中はⒹボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正します。
※受信マーク“ ”が点灯します。

★受信が失敗すると

時刻修正は行なわれず、手動受信のときは“ERR”を表示します。

●受信インジケーター

受信中は受信状態によってインジケーターが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

●受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓓ ボタンを押します

受信により最後に修正した日時を表示します。
※時刻表示に戻すには、もう一度Ⓓボタンを押します。



■ 自動受信のオン／オフ

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

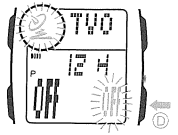
ONまたはOFFが点滅します。



2. 切り替える

Ⓓ ボタンを押します

Ⓓボタンを押すごとに、オンとオフが切り替わります。



3. 切り替えを終了する

Ⓐ ボタンを押します

時刻表示に戻ります。

※自動受信のオン／オフで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

■電波タイプの切り替え

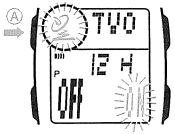
日本においてサマータイムが実施されたときに、標準電波のコード変更が行なわれることがあります。
本機は、コード変更が行なわれたときでも対応できるよう、２種類のタイプを切り替えることができます。
※コード変更の内容によっては、電波タイプを切り替えても正しく修正されないこともあります。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

自動受信の切り替えになります。



2. 電波タイプ切り替えにする

Ⓒ ボタンを 10 回押します

ON または OFF が点滅します。



3. 切り替える

Ⓓボタンを約2秒間押し続けます

Ⓓ ボタンを押し続けるごとに、オンとオフが切り替わります。



4. 切り替えを終了する

Ⓐ ボタンを押します

時刻表示に戻ります。

※電波タイプの切り替えで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

●サマータイムが実施されていないときは、電波タイプを“OFF”のままお使いください。
●サマータイムが実施されたときの電波タイプについては、カシオテクノ・サービスステーション（本誌裏面に記載）にお問い合わせください。

■受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードおよびワールドタイムモードでのみ行なわれます。

●自動受信を行なう午前２時・４時・６時から 15 分程度は、ボタン操作を行なわないでください。

●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。

●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

●本機は日本で送信されている電波に合わせて設定されていますので、日本国外および日本の電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。

●電波受信を行なわないときは、製品仕様に記載の精度範囲で動きます。

●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。

●受信中はアラームなどの電子音は鳴りません。

●本機のカレンダー機能は2039年までですので、2040年以降は受信してもエラーとなり、カレンダーは2039年12月31日のままとなります。

■こんなときには

手動受信ができない

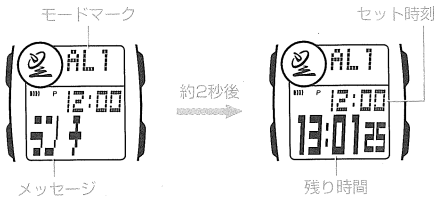
原因：時刻モード以外のときは、手動受信はできません。
処置：手動受信は時刻モードで行なってください。

「受信ON」に設定しているのに“”マークが消えている

原因：“”マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません。（毎日午前３時に消えます）
自動受信時に時刻モードおよびワールドタイムモード以外になっていた。
処置：電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
「受信成功」しやすい環境で使用してください。
自動受信を行なうときは、時刻モードまたはワールドタイムモードにしておいてください。
また、手動で時刻修正をすると、“”マークは消えます。

アラーム・時報の使い方

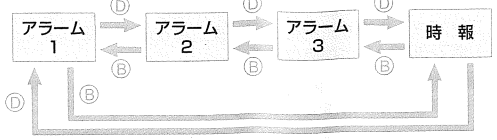
アラームはメッセージ（カタカナ８文字）と時刻（時・分）がセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。また、アラームモードではセット時刻までの残り時間を表示します。
アラームは３本あり、いずれも同じ使い方ができます。
時報は毎正時（00分）にピッピッと電子音が鳴ります。

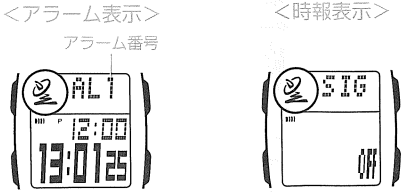


- メッセージが７文字以上のときは、最初の６文字を表示後、切り替えて残り２文字を表示します。

■セット時刻や残り時間を見る

アラームモードでⒹまたはⒷボタンを押すごとに、以下の順に表示されます。



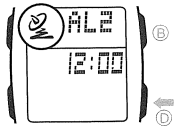


アラーム１にはあらかじめ「ランチP12:00」がセットされています。
※このデータは修正することもできます。

■アラームのセット

1. アラームを選ぶ

Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押します



2. セット状態にする

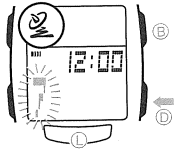
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます



文字部１桁目が点滅します。
※アラームONマークが点灯します。

3. メッセージを入力する

Ⓓまたは Ⓑ ボタンを押します



Ⓓボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。
※押し続けると早送りができます。
※Ⓛボタンを約２秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。

入力文字について

- 入力文字はスペース→カタカナ（ア～ン　ァ～オ　ッ　ャ～ョ　゛　゜）→アルファベット（A～Z）→数字（0～9）→記号（－．／：）の順に入力できます。
- カタカナの早送りは、ア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

4. 桁を選ぶ

Ⓒボタンを押します



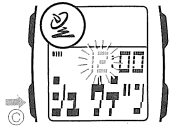
押すごとに入力箇所が１桁ずつ右に移動します。
※押し続けると早送りができます。

Ⓒボタンを押して入力箇所を移動させ、ⒹまたはⒷボタンを押して入力する操作を繰り返してメッセージを入力します。

5.「時」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

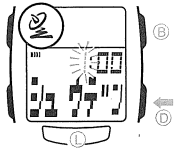
Ⓒ ボタンを押して８文字分移動させると、「時」が点滅します。



6.「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

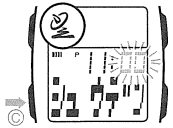


※押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前／午後にご注意ください。
※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も24時間制表示となります。
※Ⓛ ボタンを約２秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。

7.「分」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

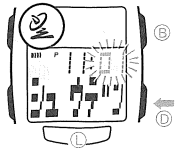
「分」が点滅します。



8.「分」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。



※押し続けると早送りができます。
※Ⓛ ボタンを約２秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。

9. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※アラームのセットで表示を点滅させたまま2〜3分すると、自動的に点滅が止まり、アラーム表示に戻ります。

●鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

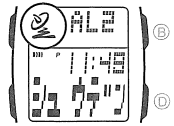
●デモアラーム

アラームモードでⒹボタンを押している間、電子音が鳴ります。

■アラームの修正

1. アラームを選ぶ

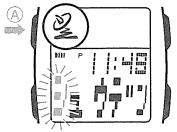
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

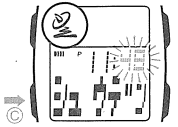
文字部１桁目が点滅します。



3. 修正箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動します。



4. メッセージまたは時刻を修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。



※押し続けると早送りができます。
※Ⓛ ボタンを約２秒間押し続けると、メッセージが消去され、セット時刻はAM12:00になります。

Ⓒボタンを押して修正箇所を移動させ、ⒹまたはⒷボタンを押して修正する操作を繰り返してメッセージおよび時刻を修正します。

5. 修正を終了する

Ⓐ ボタンを押します

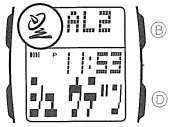
点滅が止まります。

※アラームの修正で表示を点滅させたまま２〜３分すると、自動的に点滅が止まり、アラーム表示に戻ります。

■アラーム・時報のオン／オフ

1. アラームを選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



2. 切り替える

Ⓐ ボタンを押します

押すごとにアラームまたは時報のオンとオフが切り替わります。

＜アラーム表示＞



＜時報表示＞

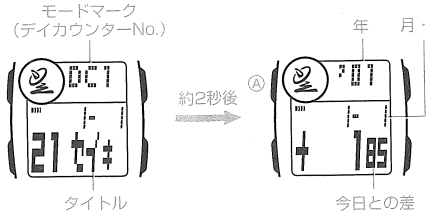


デイカウンター機能の使い方

デイカウンター機能は、タイトル（８文字）と年月日を５件セットでき、今日とセット日との差を表示します。

未来の予定日などを設定
➟今日からの残日数を＋（プラス）で表示
過去の記念日などを設定
➟今日までの経過日数を－（マイナス）で表示

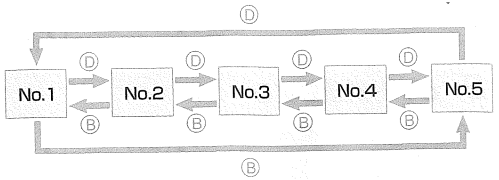
＜タイトル表示＞　＜日数表示＞



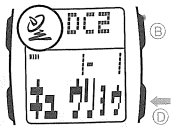
- タイトルが７文字以上のときは、最初の６文字を表示後、切り替えて残り２文字を表示します。
- 日数表示のときにⒶボタンを押すと、タイトルを約２秒間表示します。

■セット日や日数を見る

デイカウンターモードでⒹまたはⒷボタンを押すごとに以下の順に表示されます。



デイカウンターNo.を選ぶと約２秒後にセット日と今日との差を表示します。



３つのデイカウンターの中には、あらかじめ下記のデータがセットされています。

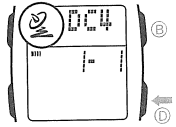
No.1：21 セイキ（21 世紀）
No.2：キュウリョウビ（給料日）
No.3：タンジョウビ（誕生日）

※このデータは修正することもできます。

■デイカウンターのセット

1. デイカウンターNo.を選ぶ

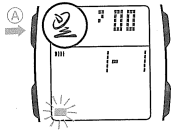
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

文字部１桁目が点滅します。



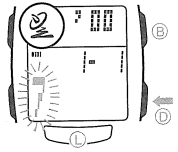
3. メッセージを入力する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※Ⓛ ボタンを約2秒間押し続けると、タイトルが消去され、セット日は今日になります。



入力文字について

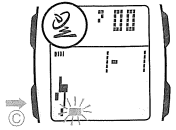
- 入力文字はスペース→カタカナ（ア～ン　ァ～ォ　ッ　ャ～ョ　゛　゜）→アルファベット（A～Z）→数字（0～9）→記号（－．／：）の順に入力できます。
- カタカナの早送りは、ア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

4. 桁を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

押すごとに入力箇所が１桁ずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。

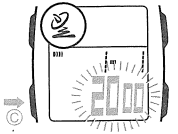


Ⓒボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返してタイトルを入力します。

5.「年」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

Ⓒ ボタンを押して８文字分移動させると、「年」が点滅します。



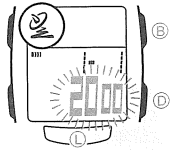
6.「年」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

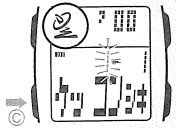
※Ⓛ ボタンを約２秒間押し続けると、タイトルが消去され、セット日は今日になります。



7.「月」のセットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

「月」が点滅します。



Ⓒボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返して年・月・日をセットします。

※年月日は西暦で1940年1月1日～2039年12月31日までセットできます。

8. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

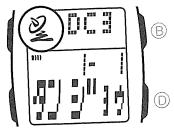
点滅が止まります。

※デイカウンターのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、デイカウンター表示に戻ります。

■デイカウンターの修正

1. デイカウンターNo.を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

文字部1桁目が点滅します。

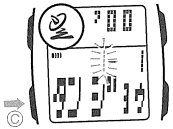


3. 修正箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

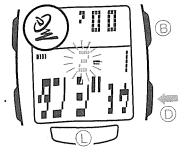
押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。



4. 修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※Ⓛ ボタンを約2秒間押し続けると、タイトルが消去され、セット日は今日になります。

Ⓒボタンを押して修正箇所を移動させ、ⒹまたはⒷボタンを押して修正する操作を繰り返してタイトルおよび年月日を修正します。

5. 修正を終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

※デイカウンターの修正で表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まり、デイカウンター表示に戻ります。

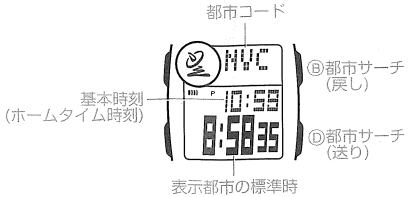
ワールドタイムの使い方

ワールドタイムは世界27都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができる機能です。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市が表示されます。
以後、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押すとごに、都市コードとその都市の標準時を表示します。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンは押し続けると早送りができます。



選択都市の標準時が違っているときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。
※セットについては31ページをご覧ください。

■サマータイムの設定／解除

サマータイムは各都市ごとに設定できます。

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます



"DST"マークが点灯します。

※サマータイムを解除するときも、Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます。

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

■ワールドタイム都市一覧表

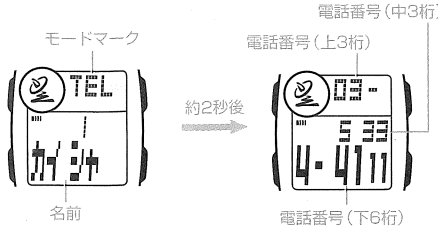
都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
― ― ―		−11	パゴパゴ
HNL	ホノルル	−10	パペーテ
ANC	アンカレジ	−9	ノーム
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、マイアミ、ボストン
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス
― ― ―		−2	
― ― ―		−1	アゾレス諸島
GMT		±0	<グリニッジ標準時>
LON	ロンドン	±0	ダブリン
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
CAI JRS	カイロ エルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、ベイルート
JED	ジッダ	+3	クウェート、モスクワ
THR	テヘラン	+3.5	
DXB	ドバイ	+4	アブダビ
KBL	カブール	+4.5	
KHI	カラチ	+5	
DEL	デリー	+5.5	
DAC	ダッカ	+6	
RGN	ヤンゴン	+6.5	
BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
TYO	東京	+9	ソウル、平壌
ADL	アデレード	+9.5	
SYD	シドニー	+10	グアム
NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2000年12月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時（世界協定時：GMT）を基準としたものです。

テレメモの使い方

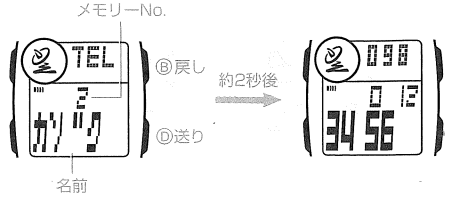
テレメモとは名前８文字、電話番号12桁を最大20件まで記憶できる機能です。
データを入力すると、名前順に並び替わりますので、データを探すときも大変便利です。



- 名前が７文字以上のときは、最初の６文字を表示後、切り替えて残り２文字を表示します。

■データのサーチ

テレメモモードでⒹまたはⒷボタンを押すごとに、名前順に表示されます。
※Ⓓ・Ⓑボタンは押し続けると早送りができます。
※メモリーNo.はメモリーされている順番で、下記表示では２番目にメモリーされていることを表します。



名前を選ぶと約２秒後に電話番号を表示します。
以後、Ⓐボタンを押すごとに名前と電話番号の表示が切り替わります。

テレメモにはあらかじめ「カイシャ」、「カゾク」、「ジタク」（名前部のみ）がセットされています。
※このデータは修正および消去することもできます。

■データの入力

1. 新規ページを選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

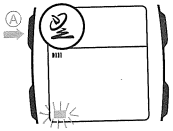


※新規ページは入力してあるデータの最後に表示されます。

データが20件すべて入力してあるときは、新規ページのかわりに「FULL」と表示されます。このときは、29ページの「データを消去する」を参照して、不要なデータを消してください。

2. セット状態にする

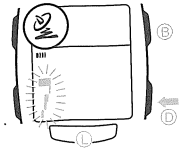
Ⓐボタンを約2秒間押し続けます



名前部１桁目が点滅します。

3. 名前を入力する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

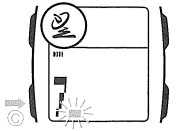
※Ⓛ ボタンを約２秒間押し続けると、名前と電話番号が消去されます。

入力文字について

- 入力文字はスペース→カタカナ（ア～ン　ァ～オ　ッ　ャ～ョ　゛　゜）→アルファベット（A～Z）→数字（0～9）→記号（ー．／：）の順に入力できます。
- カタカナの早送りは、ア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

4. 桁を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します



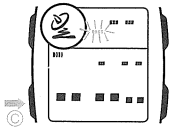
押すごとに入力箇所が１桁ずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。

Ⓒボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返して名前を入力します。

5. 電話番号の入力に切り替える

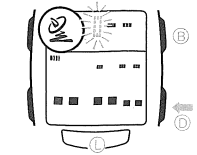
Ⓒ ボタンを押します



Ⓒ ボタンを押して８文字分移動させると、電話番号部１桁目が点滅します。

6. 電話番号をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※Ⓛ ボタンを約２秒間押し続けると、名前と電話番号が消去されます。

電話番号も同様に Ⓒ ボタンを押して入力箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して入力する操作を繰り返して入力します。

7. 入力を終了する

Ⓐ ボタンを押します

名前順に並び替えが行なわれ、点滅が止まります。
続けて入力するときは、手順１からを繰り返します。

※テレメモの入力で表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

■ データを修正する

1. 修正データを選ぶ

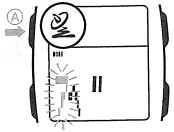
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

名前部 1 桁目が点滅します。

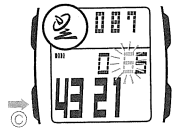


3. 修正箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動します。

※押し続けると早送りができます。



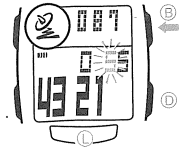
4. 修正する

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※押し続けると早送りができます。

※Ⓛ ボタンを約２秒間押し続けると、名前と電話番号が消去されます。



Ⓒ ボタンを押して修正箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押して修正する操作を繰り返して名前および電話番号を修正します。

5. 修正を終了する

Ⓐ ボタンを押します

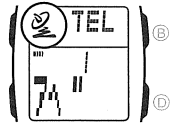
点滅が止まります。

※テレメモの修正で表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

■ データを消去する

1. 消去データを選ぶ

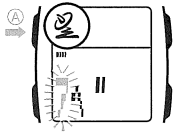
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

名前部 1 桁目が点滅します。



3. データを消去する

Ⓛ ボタンを約2秒間押し続けます

名前と電話番号が同時に消去されます。

※消去後、新たなデータが入力できます。



4. 消去を終了する

Ⓐ ボタンを押します

点滅が止まります。

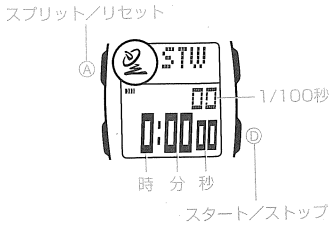
※テレメモの消去で表示を点滅させたまま２～３分すると、自動的に点滅が止まり、テレメモ表示に戻ります。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

■計測のしかた

- Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。
- 計測がストップしているときにⒶボタンを押すと、0時間00分00秒00（リセット表示）になります。
- 計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム（途中経過時間）計測となります。



●通常の計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット計測 → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

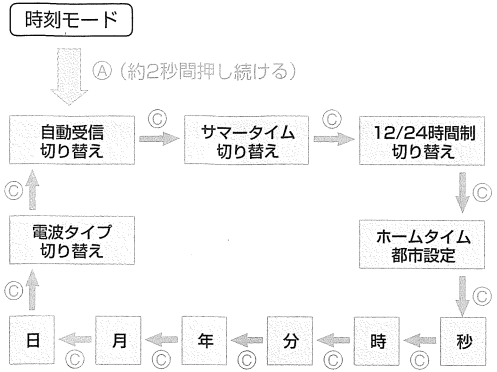
●1着・2着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等をセットします。
なお、時刻とカレンダーは、「自動受信オン」にしておくと自動的に正しく修正されますので、通常は修正する必要ありません。電波受信ができないときや、「自動受信オフ」にしてあるときなどは、ここで説明する操作にしたがって合わせてください。

■セット内容



※時刻モードの表示に戻すには、もう一度Ⓐボタンを押します。
※電波受信切り替えについては11ページを、電波タイプ切り替えについては12ページをご覧ください。

■セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押し続けます

ONまたはOFFが点滅します。



2. 切り替える

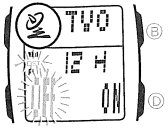
Ⓒボタンを押します

Ⓒボタンを押すごとに、セット箇所（点滅箇所）が左図の順に移動します。



3. セットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



Ⓒ ボタンを押してセットしたい箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※サマータイム切り替えは、Ⓓ ボタンを押すごとに ON と OFF が切り替わります。
※12/24時間制切り替えは、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。
※ホームタイム都市設定は、24ページの表の順に Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※秒合わせは、Ⓓ ボタンを押すと「秒」が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって「00秒」からスタートします。
※「時」のセットのとき、午前(A)／午後(P)および24時間制にご注意ください。
※「年月日」は西暦で2000年1月1日～2039年12月31日までセットできます。
※曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

時刻表示に戻ります。

※ホームタイムデータのセットで表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に時刻表示に戻ります。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
基本機能：月・日・曜日・時・分・秒・午前／午後(P)／24時間制表示
フルオートカレンダー(2000～2039年)
電波時計機能：自動受信(午前2・4・6時)、手動受信、
受信日時リコール付、
受信オン／オフ切り替え、
電波タイプ切り替え

受信電波＝長波標準電波 JJY
周波数＝
モジュール No.2141：40kHz
モジュール No.2469：60kHz

アラーム機能：時刻アラーム3本
セット単位＝分　電子音＝20秒間
メッセージセット、残り時間表示
時報　毎正時に2回電子音で報時
デイカウンター機能：タイトル（8文字）、
年月日を5本メモリー
設定範囲＝1940～2039年
今日と設定日との差を表示
ワールドタイム機能：27都市29タイムゾーン
時・分・秒（秒は基本時刻と連動）
サマータイム切り替え機能付
テレメモ機能：名前（8文字）と電話番号（12桁）を最大20件までメモリー
自動ソート機能
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99
(24時間計)
通常計測、積算計測、スプリット計測
セット機能：時刻・カレンダーセット機能、
秒合わせ機能（±30秒アジャスト）、
ホームタイム都市設定、
サマータイム切り替え、
アラームセット機能
その他：自動復帰機能、デモアラーム、
12/24時間制表示切り替え、
ELバックライト
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-1620（電池別途販売）
電池寿命：約2年
（1日あたり
電波受信を33分、ライト1.5秒、
電子音20秒使用した場合）

ご使用上の注意

■防水性

●**表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。**

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●**表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。**
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

■磁気

●磁気の影響はありません。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えを取っておいてください。

お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」
●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。